



活動予定カレンダー

TKC SCHEDULE

平成31年1月			平成31年2月			平成31年3月		
日	曜	活動予定	日	曜	活動予定	日	曜	活動予定
1	火	元日	1	金	札幌東支部例会／釧路支部例会 釧路未入会税理士向け「TKC会計事務所経営セミナー」	1	金	
2	水		2	土		2	土	
3	木		3	日		3	日	
4	金		4	月	正副会長会 資産活用委員会合同研修会	4	月	北海道会広報委員会
5	土		5	火	旭川未入会税理士向け「TKC会計事務所経営セミナー」	5	火	
6	日		6	水	札幌未入会税理士向け「TKC会計事務所経営セミナー」 北見未入会税理士向け「TKC会計事務所経営セミナー」	6	水	
7	月		7	木	全国会システム委員会／北海道会理事会 北海道会研修所役員会	7	木	
8	火		8	金	全国会システム委員会 北海道会巡回監査・事務所経営委員会	8	金	
9	水	北海道会正副会長会	9	土		9	土	
10	木	FX4クラウドプレミアムセミナー	10	日		10	日	
11	金	北海道会書面添付推進委員会	11	月	建国記念の日	11	月	
12	土		12	火	全国会企業防衛制度推進委員会	12	火	
13	日		13	水		13	水	
14	月	成人の日	14	木	資産対策研究会	14	木	
15	火		15	金		15	金	
16	水		16	土		16	土	
17	木		17	日		17	日	
18	金	全国会理事会／政策発表会 賀詞交換会	18	月	北海道会広報委員会	18	月	全国会正副会長会
19	土	ニューメンバーサービス委員会／共済制度等推進委員会 ニューメンバーズウィンターセミナー	19	火		19	火	企業防衛全国合同推進会議
20	日	ニューメンバーズウィンターセミナー	20	水		20	水	
21	月		21	木		21	木	春分の日
22	火	北海道会理事会／新春講演会 新年交礼会	22	金		22	金	
23	水		23	土		23	土	
24	木		24	日		24	日	
25	金		25	月		25	月	
26	土		26	火		26	火	
27	日		27	水		27	水	
28	月		28	木		28	木	
29	火					29	金	
30	水					30	土	
31	木					31	日	

※主な行事を掲載しています。日程が変更となることもありますので個別案内をご確認ください。

TKC北海道

かいほう

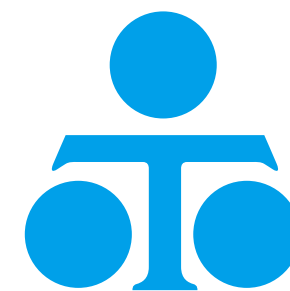
2019.1.1
第228号

TKC北海道会広報委員会

札幌市中央区北3条西3丁目1札幌北三条ビル4階
TEL(011)222-8505 FAX(011)222-8622
http://www.tkc.jp/hokkaido



発行責任者／田中 裕之 編集責任者／宮下 直樹 印刷所／株式会社メディアプラネット



Chance, Change and Challenge

TKC HOKKAIDO



CONTENTS

- 新年のご挨拶
税理士業界の輝かしい未来のために
田中裕之会長 02
岩本敏美副会長 03
- ニューメンバーズフォーラム2018in広島 1日目 ... 04
- ニューメンバーズフォーラム2018in広島 2日目 ... 06
- 全国会システム委員会 IN シリコンバレー報告 ... 07
- TISC見学会 09
- 大和部会視察研修旅行11月開催 12
- 第8回北洋銀行とTKC北海道会の連携強化セミナー... 14
- TKC北海道会と日本政策金融公庫との交流会 ... 14
- 新規事業承継税制に関する研修会 15
- 前衆議院議員高木宏壽先生との懇談会 16
- リスク3委員会からの提案です！ 17
- TKCモニタリング情報サービスNEWS 18
- 早期経営改善計画策定支援NEWS 18
- 平成30年 書面添付実践件数 20
- 支部例会・研修会だより 22
- スープカレーは本懐、そこに萌えんとは、君 ... 31
- 会員訪問 32
- コラム・棚おろし評 36
- リレーエッセイ「時・空・人」 38
- 帰ってきた けんたの業務日誌 39
- 委員長みやしたの取調室 40
- 新入会員の紹介 41
- 編集後記 41

新年のご挨拶

税理士業界の輝かしい未来のために

新年あけましておめでとうございます。

TKC北海道会会員の皆さまにおかれましては、健やかに新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

しかしながら、昨年は、北海道胆振東部地震による甚大な被害を受け、いまだに多くの被災者の方が普段の生活に戻っておりません。一日でも早い復興を心からお祈り申し上げます。

さて、昨年は特例事業承継税制が創設され、中小企業の事業承継支援が本格的にスタートした年でした。

また、本年10月から消費税率の引上げと軽減税率制度がスタートします。実務的に多くの混乱が予想されるため、十分に準備し、関与先企業に対してもしっかり指導していく必要があります。われわれにとっては本当に忙しく大変な一年になりそうです。

しかし、税理士が社会から求められている役割は、言うまでもなく税務に関わることだけではありません。TKC全国会では、これからの中小企業金融においていかに税理士が役割を果たしていくかというテーマを重要課題の一つと捉えています。

それでは中小企業金融において、われわれが果たすべき役割とは何でしょうか。それは、金融機関に対し、企業の正しい会計情報、すなわち信頼性のある決算書をタイムリーに提供することです。これまで、各地域会では地域金融機関のトップと対談を行ってまいりました。その対談



から見てきたことは、金融機関の最重要課題が事業性評価であり、そのためにタイムリーで正確な会計情報を必要としているということです。TKC会員事務所は、この金融機関のニーズに応えることのできる仕組みを持っています。決算書については、月次巡回監査から導き出される「書面添付」、「記帳適時性証明書」、「中小会計要領」によって信頼性を担保することができます。

また、これらの情報をタイムリーに提供するツールとして「TKCモニタリング情報サービス」があります。現状、わが国において、このような仕組みを持っているのはTKC会員事務所だけといっても過言ではありません。

昨年の7月に金沢で開催された全国役員大会の基調講演で、遠藤俊英金融庁長官にご講演いただいたことが大きな契機となり、税理士との連携の必要性とTKCモニタリング情報サービ

スの有用性について、金融機関の理解が格段に進んだ印象を持ちます。さらに、税理士と連携した金融商品の開発や書面添付を活用した経営者保証契約の見直しなどの取組事例について、新聞報道を目にする機会も増えてきました。おそらくこの動きは今後ますます進展していくことでしょう。

坂本孝司TKC全国会会長は、日頃より税理士には4つの業務領域があるとお話をされています。これだけ幅広い業務領域をもつ士業は他にないでしょう。だからこそ社会からの期待も大

きく、この期待にすべての税理士がしっかりと応えることができたとき、真に社会から信頼と尊敬を受けることとなるでしょう。是非ともそういう輝かしい未来を実現したいものです。

本年4月末で平成が幕を閉じ、新たな元号がスタートします。われわれも新たなスタートとして税理士業界の輝かしい未来に向かって、一致団結して頑張っていきたいと思います。年頭にあたり、会員の皆さまのご活躍とご健勝を心よりご祈念申し上げます。

(会長 田中 裕之)

新年のご挨拶

TKC 会員のブランド化を推進しましょう

新年あけましておめでとうございます。

TKC北海道会会員の皆さまにおかれましては、新春をお迎えになられましたこと、心からお慶び申し上げます。

昨年もTKC北海道会は、TKCモニタリング情報サービスの普及を推進してまいりました。おかげさまで徐々に取扱い金融機関と取扱い件数も増加しています。ただ、まだ大きな流れとなっていないのが現状です。かつての電子申告のようにTKC会員が率先して普及させ、われわれにとって当たり前の業務になるようにさらなる推進をお願いいたします。

一昨年から私は中小企業支援委員会担当副会長として、TKCモニタリング情報サービスの開始による覚書の締結や金融機関とのトップ対談などで、多くの金融機関の幹部の方と対談しました。金融機関の幹部の方にTKC北海道会の取組みやTKC会員が巡回監査を標準業務にし



ていることなどを説明をすると、皆さんTKCマークの入った決算書は信頼性が高いとの認識でした。これはTKC会員が巡回監査を通じて適正な決算書を作成してきたことを、金融機関の方も認めていただけるようになってきて喜ばしいこと

です。

かつて私が金融機関に勤務していた頃、お客さんの関与税理士が来ると、先輩から胡散臭いから気を付けるようにと言われました。かつては金融機関からみると税理士は粉飾決算をする胡散臭い存在だったのです。その認識が長く続き、金融機関にとって税理士は信頼できないと思われていたと思います。それがわれわれTKC会員の適正な決算書の作成や、書面添付、中小会計要領の適用などを通じ、徐々に信頼を得てきていると思います。

ただ、金融機関の幹部の方の意見として、すべてのTKC会員が巡回監査を行っていないとか、すべての会員が粉飾決算をしていないとは信じられないとの意見もありました。せっかくTKCと名前の入った決算書が信頼できる決算書としてブランド化しており、大半の会員が巡回監査

に基づき適正な決算書を作成していても、結果的に全体としては本当に信頼できる決算書として認めていただけないのはとても残念です。

現在、TKC北海道会は、K（継続MAS）F（FX）S（書面添付）の推進する施策をいろいろ行っています。それは関与先の繁栄のためや租税正義のために、会員事務所の業務水準を向上させる目的から行っています。そして、それは結果的に金融機関などの外部から信頼を獲得することになると思います。

今後、全TKC会員の業務水準を向上させ、関与先および金融機関からも信頼できる税理士事務所としてTKC税理士事務所をブランド化できるように全会員が努力していただくようお願いいたします。

（副会長 岩本 敏美）

「税理士資格取得希望者限定」、「独立志望でない者限定」、「学歴不問」という方針で、適性検査で基礎能力を測り、所長の思いに賛同することを重視しているとの説明がありました。これから職員を採用する際の参考になりました。

池田会員の報告の後、グループディスカッションが行われました。

私のグループは、グループリーダーも含め、全員1人事務所で職員採用の手段や募集対象、雇用形態について熱い議論を交わしました。同じ1人事務所といっても、開業したての会員もいれば、事務所が軌道に乗り忙しくなっている会員もあり、職員採用の悩みは人それぞれで、顧問先獲得がこれからの私にとって、「軌道に乗ってから採用活動をしようとしても、忙しくて時間が取れない」という会員の声が強印象に残りました。タイミングをうまく見計らって早めに採用活動すべきと痛感しました。

3. 懇親会

18時半から懇親会が始まりました。

1次会は、立食形式で各地域会ごとにテーブルを囲む形式で行われました。参加者同士で談笑を楽しみつつ飲食しましたが、思った以上に提供される食事が多くスムーズに皿を空けるた

め、私は「フードファイター」の本領を発揮し、美味しくいただきました。広島名物お好み焼きもメニューに登場し、広島らしい1次会でした。

2次会は広島の街を一望できるメイン会場のホテルの22階で、東京中央会と四国会の3会合同で開催されました。テーブルは同じ分科会に参加したメンバー同士で囲む形となり、初めに司会が硬めに「同じ分科会参加者同士で分科会の議論を深めよう」とあいさつがありました。しかしここは2次会ということで、田中裕之北海道会会長をはじめ、各地域会の会長やNMS委員長がざくばらんに行こうということで、いつも通り東京中央会、四国会の会員と気兼ねなく談笑する2次会となりました。

今回は、四国会との合同ということで一昨年9月まで北海道SCGセンターに在籍していた相澤朋之四国SCGセンター長代理も同席していました。1年ぶりの再会を懐かしみつつ、相澤センター長代理から「ブログ見えていますよ！もっと前向きに行きましょうよ！」と叱咤激励されました。今回のニューメンバーズフォーラムの学びを生かして前向きに生きたいと思います。

（札幌西支部 熊谷 亘泰）

ニューメンバーズフォーラム 2018 in 広島 1日目

1. 坂本孝司会長講演

今年のニューメンバーズフォーラムは、ANAクラウンプラザ広島で開催されました。

オープニングは、重点活動テーマ・ニューメンバーズ部門表彰から始まり、続いて坂本孝司TKC全国会会長による講演がありました。

講演の中では、事務所開業から現在に至るまでの関与先紹介の広がりを時系列に示した図が登場し、どのように関与先拡大したのか説明がありました。長く事務所発展するまで、さまざまなご縁があることが一目でわかりました。また、関与先拡大につなげるために「厳しくても真

面目な姿勢でお客様に臨む」「会計人の4大業務を完全にこなす」ことが重要であると、厳しくも愛のあるお話でした。

2. 分科会

15時から分科会が始まり、今回は第2分科会「はじめてのスタッフ採用と所内管理」に参加しました。

初めに静岡会の池田佳通会員から1時間程度お話しがあり、税理士事務所に勤務経験のあるお父様と経理担当のお母様と親子3人で開業し、その後関与先の増加で職員を新規採用したことを話されていました。職員採用については、



第4分科会 曾根先生



懇親会二次会

ニューメンバーズフォーラム 2018 in 広島 2日目

11月15日(木)・16日(金)にかけてニューメンバーズフォーラム2018 in 広島に参加させていただきました。北海道会の会員をはじめ、全国の多く会員の方と交流させていただき、非常に刺激を受けました。貴重な機会をいただき本当にありがとうございました。

2日目は、株式会社TKC角一幸社長による基調講演と、3名の会員によるパネルディスカッション、そしてフォーラム終了後の午後からは税理士法人TM三木会計で事務所見学をさせていただきました。

パネルディスカッションでは新規拡大、職員採用、失敗談などについてのお話があり、それぞれ方法は違いますが、いろいろな「行動」を起こしていることが現在の成功につながっていると感じました。

午後からは、TKC北陸会と合同で税理士法人TM三木会計へ事務所見学に伺いました。職員様からは月次巡回監査体制の話、フィンテック、早期改善計画策定支援の取り組みについてご説明いただき、三木武裕会員からは事務所の概要と事前にお伝えしてあった参加者からの質問にお答えいただきました。お話の中で、税理士法人TM三木会計ではフィンテック、早期改善計画策定支援にも積極的に取り組み、職員一人一人が高付加価値サービスを意識しているという点が印象的でした。

また、三木会員は先々代から続く税理士事務所の三代目に当たる税理士ということで、私の方から「事務所承継に際してやってよかったこと」

「やった方が良かったこと」を質問させていただきました。やって良かったことは「感謝すること」、やった方が良かったことは「丁寧なコミュニケーションをとること」と、職員の前でなかなか話しにくいようなセンシティブな内容についても本音でご回答いただき非常に感動しました。

パネルディスカッションの際にも、職員へ感謝を伝えるようにしているというお話を聞いたばかりでしたので、創業でも承継でも「感謝を伝える」という点が事務所経営をする上で非常に大切なことだと、このフォーラムを通じて意識されました。

最後に、今回のニューメンバーズフォーラムの会場であったANAクラウンプラザホテルから徒歩10分ほどの所に平和記念公園があったので、フォーラム開始前に見学に行ってきました。資料館にあった戦時の焼け野原となった広島の写真などの資料を見て、日々の忙しさの中で忘れてしまいそうになる、今ある当たり前の幸せに感謝しなければならないと強く思いました。

非常に多くのことを考えさせられた今回のニューメンバーズフォーラムでしたが、今回感じたことをしっかりと胸に刻み、これからの仕事へ活かしていきたいと思います。

(札幌東支部 山美 太生)



全国会システム委員会 IN シリコンバレー 報告

第151回全国会システム委員会は11月4日(日)から11月9日(金)まで、米国カリフォルニア州シリコンバレー(SV)で開催されました。北海道会からは、田中裕之担当副会長、加藤恵一郎特別委員、私の3人が参加しました。現地で開催されたレクチャーおよびプレゼンテーションを紹介します。

初日は、米国公認会計士大石龍太郎先生による「米国の会計事務所及び関連するIT業界の最新事情」の講義でした。

〈Peer Review〉

米国公認会計士(CPA)にもさらに資格区分があり、3年ごとにPeer Reviewという厳格な監査(何百万円もかかる!?)を会計事務所自身が受けることで、金融機関に対する決算書の保証、クオリティーコントロールをしている。

〈会計／給与人事ソフト〉

Intuit社が提供するクラウド会計ソフトquickbooks がスモールビジネス(中小企業)における圧倒的シェアを占めている。家計簿ソフトから発展した誰でも使える安価なクラウド会計ソフトだが、過去データを簡単に修正できる

何でもありの会計ソフトである。また、世界最大の給与計算代行会社ADPは、給与計算だけではなく総務部門をIT活用して請け負う。米国会計事務所は給与計算が主な業務だったが、ADPに追い付けなくなり廃業した事務所も多いそうだ。

続いて、東芝デジタルソリューションズ株式会社金谷健良氏による「アメリカ(シリコンバレー)最新IT事情」のレクチャーを受けました。

翌日午前、スタンフォード大学にて全国会システム委員会が開催され、「次世代自計化システムの開発コンセプト及び商品体系について」、「TKCにおけるAI活用への取り組み」が審議されました。TKCシステム開発研究所による発表後、活発な議論が交わされました。

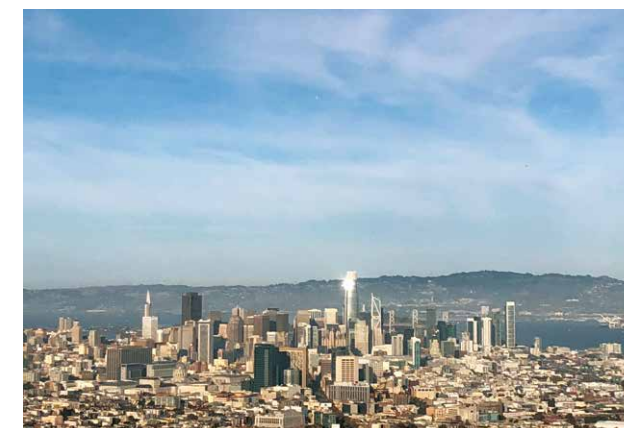
午後は、スタンフォード大学の櫛田健児教授による「幻想と現実の間で揺れ動くAIによるディストラクション」の講義を受講しました。

〈AIはまだまだ序章〉

AIは、つまり、パターン認識(データ、画像、音声)である。AIで人間の活動は飛躍的にキャプチャー(データーを取込み保存)しやすくな



ゴールデンゲートブリッジ



Salesforce タワービル(中央)

る。例えば、グーグルはアルファ碁で有名なDeepMindにより自社のデータセンターの空調効率を40%向上させ、15%の電力消費減に成功した。次のグーグルによるAIの衝撃は、このDeepMindのツールを誰でも使えるようにすることである。グーグルは情報の蓄積能力と処理能力を、希少なリソース（限定的）から豊富なりソース（一般的）へと資源配分を移行させている。

〈スタートアップ（起業）〉

SVでは、スタートアップはベンチャーキャピタル（VC）投資によって支えられている。VCはM&A（合併・買収）や大型IPO（新規株式公開）による早期のリターンを求めるので、スタートアップは急成長しなくてはならない。日本のVCと投資規模が違い高額な追加投資をする資金力がある。大企業は、スタートアップと共存するのか、ディスラプション（破壊）されるのか選択を迫られている。

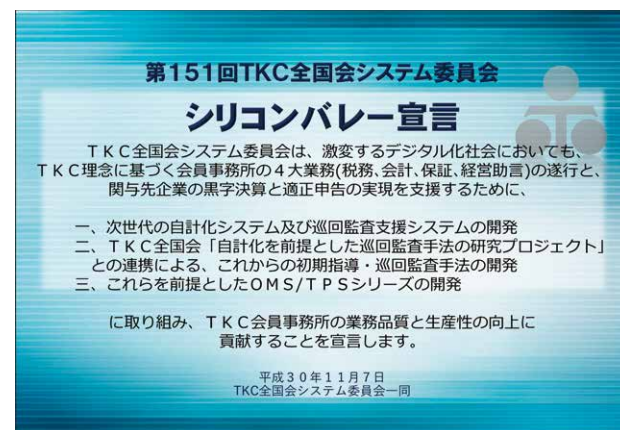
最終日は、株式会社セールスフォース・ドットコムによるプレゼンテーションでした。

〈SFA、CRM〉

株式会社セールスフォース・ドットコムの得意とする「SFA」（営業支援を目指したシステム）と「CRM」（顧客満足度と顧客ロイヤルティの向上を通して、売上の拡大と収益性の向上を目指す経営戦略／手法）は、OMSにおけるCDB（顧客情報の一元管理）や、当該顧客情報を元にした各種サービスにも通じます。OMSは今後もさらにレベルアップを継続していくシステムで、今回のレクチャーは大変有益でした。

最後に、全国会システム委員会は、今後も時代の変化に対応したシステムを開発し続けると共に、全ての会員事務所がその変化に対応でき

る状況となるよう全力で取り組んでいくことを、宣言しました。



〈むすび〉

4年に1度の米国中間選挙の投開票が現地11月6日（火）に行われました。厳しい移民政策を断行するトランプ政権がこの先2年は継続し、「米国の分断」が一層拡大する恐れがあります。

人口の4割近くが移民で構成されるSVは、スタートアップ、中でも移民にとっては資金やコネがなくても起業できる町です。SVのダイバーシティ（多様性）が、スタートアップの抱えるさまざまな問題を解決し、ディスラプションがスタートアップのやる気を引出し革新的なアイデアの実現へと導いています。

しかし、トランプ政権の影響による「米国の分断」によりSVが脅威にさらされているといえるでしょう。

ダイバーシティやディスラプションがもたらしてきたスタートアップによるSVの原動力を肌で感じた視察でした。

（システム委員長 小中 昌幸）



TISC 見学会

12月10日（月）、田中裕之TKC北海道会会長、広報委員会7名、さらに森脇一光センター長を併せた総勢9名でシス研（システム開発研究所）、TISC（TKCインターネット・サービスセンター）、TCSS（TKCカスタマーサポートセンター）へ取材旅行へ行ってきました。

この取材旅行は、われわれが普段使用しているTKCシステムが、どのように開発され、また、セキュリティ対策などがどのように実施されているかを実際に確認し、さらにTKCの歴史を学び、その理解を深めることを目的に実施させていただきました。

私たちは、宇都宮駅まで各自で集合し、まずはTISCへバスで移動しました。現在もセキュリティ対策の観点から具体的な住所は公表されて

おらず、開設当初は、目隠しをして現地まで移動していたということです。

TISCは、私たち会員のOMSやFXのデータだけでなく、地方公共団体のLTAXのデータなど大切な情報が多く保管されています。そのため、厳重な安全対策がとられており、施設内を見学させていただく際も、それぞれの扉ごとにセキュリティカードが必要で、サーバー室に入る際には、限られた人しか登録されていない静脈センサーによる解錠が必要となっていました。常時4名から7名のスタッフによるシステムの運用監視を24時間体制で行なっているということで、実際に監視室の様子も拝見させていただきました。

また、建物は震度7の地震にも耐えられる免震構造になっており、実際に東日本大震災の時に



TISC講義風景

は震度6強の揺れに見舞われながらも建物に被害はなく、サービスの停止も一切なかったということです。まさにソフト面もハード面も十分な対策をとられていることを実感しました。

続いて、TCSSにお伺いしました。この施設がある栃木県鹿沼市は、創業当初の飯塚毅TKC全国会初代会長の事務所があった地域でもあるそうです。TCSSはTKCヘルプデスクと平成29年10月からスタートしたTKCシステムまいサポートへの私たち会員や関与先からの問い合わせに対応するコールセンターです。

現在は、約200名体制で業務にあたっているということですが、まず驚いたのは充実した研修スケジュールと企業内保育園などの福利厚生です。

特に研修制度では、入社後、全体研修を受講し、その後、各自が専門の担当となるシステム研修を受け、実際に電話応対にあたるまでは約2ヶ月間の期間をかけているということです。やはり優秀な人材確保と継続就労には研修と福

利厚生は欠かせないというお話でした。

さて、TKCシステムまいサポートの問い合わせ状況をお伺いすると、関与先からの問い合わせの約7割がPX2、あんしん給与に関するものということです。会員の中には、FX2に関する質問は会計事務所で対応し、PX2に関する質問はTKCシステムまいサポートをご案内している方も増えているようで、その活用方法についても非常に参考になりました。

TKC北海道会では、TKCシステムまいサポートのサービス料金が6月30日まで無償になっていますので、私も、早速活用していきたいと思います。皆さまも、ぜひ活用をご検討ください。

続いて、私たちは飯塚毅記念館を訪問させていただきました。ここは飯塚毅TKC全国会初代会長、そしてTKCの歴史を学ぶ場所です。

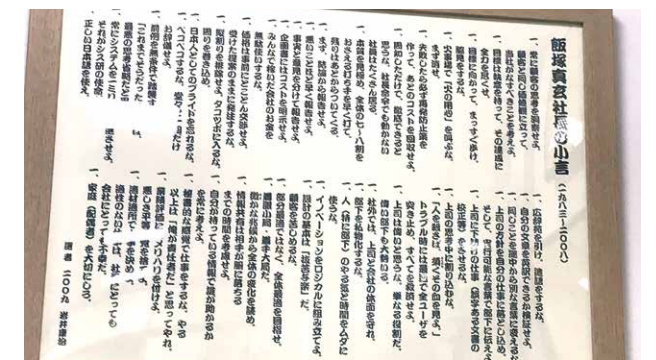
飯塚会長がニューヨークで世界会計人会議に出席された際、TKCの設立を決意された経緯や、飯塚事件のお話、さらに、まだ税理士という資格がない昭和24年から巡回監査報告書を開

発されていたことなど非常にわかりやすく解説していただきました。

今回、広報委員会の委員のほとんどがTISC等への訪問は初めてということでした。色々なことを学び感じられる訪問であったと考えています。会員の中で、TISC等へ訪問したことがない方も多くいらっしゃると思いますので、ぜひ一度は支部や委員会のメンバーで伺ってみてはいかがでしょうか。

最後に、今回の取材旅行の企画・運営を全面的に行っていただいた森脇センター長はじめ株式会社TKCの皆さまに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

(広報委員長 宮下 直樹)



飯塚真玄社長の小言



TCSS見学

大和部会視察研修旅行 11月開催 ～今回は奈良・大阪・和歌山方面へ行ってきました～



いい夫婦の日

11月22日(木)から11月24日(土)までの2泊3日の行程で資産活用委員会大和部会視察研修旅行が開催されました。

昨年4月には福岡方面へ視察に伺いましたが、年度が替わった今年度は、11月開催となり変則的に年2回の視察研修となりました。

今回は、遠藤成紀部会長をはじめ会員、会員のご家族、大和ハウス工業株式会社の社員を含め総勢23名での視察研修の開催でした。4月は会務等で日程的に厳しいが11月なら参加できるという会員のご意見もあり、今回、初めて参加した会員も多くいらっしゃいました。



集合写真

初日、朝7時に新千歳空港に集合した私たちは、飛行機で伊丹空港へ降り立ち、そこからバスで奈良市内にある大和ハウス工業総合技術研究所へ向かいました。この施設は大和ハウス工業の創業者である石橋信夫氏の記念館をはじめ様々な施設がありますが、今回はうちD'ミュージアムとテクノギャラリーという2つ

の施設を見学させていただきました。

まずD'ミュージアムへ入るとダイワマンに迎えられ、館内では環境共生をテーマとした世界の住まいや大和ハウス工業の歴史を学びました。また、テクノギャラリーでは、未来を見据えた最新技術の研究内容を教えていただきました。ここで内容は書けませんが最新技術はすごいですね!当然、写真撮影もNGでしたので、ご興味がある方は、是非、行ってみたいはいかがでしょうか。



総合技術研究所見学

その後、奈良ホテルで奈良名物の柿の葉寿司などの昼食をとり、国宝の春日堂と白山堂、運慶作の大日如来坐像がある忍辱山円成寺を散策し、初日の宿泊先である堺市内にあるホテル・アゴーラ リージェンシー堺へ移動しました。

夕食会は、同ホテルでフランス料理を堪能しました。当日は11月22日(いい夫婦の日)ということで、夕食後、参加されたご夫婦3組を囲み記念撮影をするなど和やかな雰囲気の中で初日を終えました。

2日目は、早朝から和歌山県へ移動し高野山

へ向かいました。豊臣秀吉が文禄2年(1593年)に亡母の菩提ために建立した金剛峯寺や奥之院弘法大師御廟などを現地ボランティアガイドの方の丁寧な解説を聞きながら見学し、お昼には精進料理を堪能させていただきました。



高野山

高野山から和歌山県南部にある紀州梅干館へ向かう道中は、未だ台風21号の影響による倒木が多数あり、道路が片側交互通行となっていたため、予定を大きく遅れ閉館時間ギリギリでの紀州梅干館の到着となりました。それにも関わらずスタッフの方のご厚意によりお店を開けておいていただき、私たちはお土産物の購入を無事に行うことができました。

2日目の宿泊先であるホテル&リゾート 和歌山南部では、ホテルの支配人の方が大和ハウス工業三原康展支社長の同期で、大変なおもてなしをいただきました。ありがとうございます。



ホテル&リゾート和歌山南部

また、夕食の後には、この研修旅行の恒例となりつつあるカラオケが行われ大いに盛り上がりました。旅のハイライトで写真を撮ればよかったのですが、すいません…失念してしまいました…安定のお祭り男須〇さんがトップバッターを

飾り、風邪なのに3曲も歌って翌日声が出なくなる某会員など楽しい宴となりました。次回はしっかり写真に収めてみせます。



湯浅町
湯浅伝統的建造物群保存地区

最終日には、湯浅町湯浅伝統的建造物群保存地区を現地ボランティアガイドの方にご案内をいただ

きながら散策しました。前日の高野山でもそうでしたが、ここでもボランティアガイドの方の親切丁寧な解説に地元への愛の深さを感じました。こういうのは個人旅行ではなかなか味わえない醍醐味ですね。ここは金山寺味噌の製造過程から生まれた醤油醸造が有名な場所で、また、以前、大和ハウスのCMでも起用されたことがあるということでした。ご記憶の会員はいらっしゃいますでしょうか。

その後、牛すき焼きの昼食を経て、最後の訪問地である紀三井寺に行き全行程が終了となりました。



紀三井寺

今回の研修旅行も行程が盛りだくさんで、研鑽を積む場としても、会員相互の交流を深める場としても非常に良いものでありました。研修旅行の添乗を行っていただいた大和リゾート志賀敬生様をはじめ大和ハウス工業の皆さまには大変お世話になりました。ありがとうございます。

次回の研修旅行は、11月に台湾で初の海外研修を実施する予定です。今回参加した会員はもちろんのこと、未参加の会員も是非次回の研修旅行に行ってみませんか。

(広報委員長 宮下 直樹)

第8回北洋銀行とTKC北海道会の連携強化セミナー

1. 日 時 平成30年11月27日（火）
17:30～19:00 連携強化セミナー
19:00～20:00 懇親会
2. 会 場 ANAクラウンプラザホテル札幌
3. 参 加 TKC北海道会会員34名
北洋銀行33名
4. テーマ ～中小企業の持続的成長を支援するために～
セミナーでは、田中裕之TKC北海道会会長よりTKC全国会の活動および書面添付、TKCモニタリング情報サービス、決算書の信頼性向上に向けた取り組みについてお話いただきました。また、迫田俊高北洋銀行副頭取より、
①TKCモニタリング情報サービスについて、スピーディに正確な情報が入手できる点を高く評価していること、
②北洋銀行では金融庁方針の下、事業性評価グループを2年前に設置し全国でも高い実績を挙げている、
③事業性評価をさらに進めていくためにTKCモニタリング情報サービスと書面添付が重要で

あること、
④TKC北海道会と北洋銀行で実効性のある連携をさらに進めたい、とのお話をいただきました。

TKCからの情報提供では、「決算書の信頼性確保に向けたTKCの取り組み」と題して、市川善明会員より書面添付制度と書面添付を実践するために会員事務所が行っている日常業務を説明いただき、小平康夫会員よりこれらの業務の結果を電子データとして提供しているモニタリング情報サービスについて説明していただきました。

北洋銀行の情報提供では、アドバイザーサポート部の久保雄平氏より、「確定拠出年金を活用した福利厚生のご提案」と題したご講演と北洋銀行が提供するサービスをご説明いただきました。

（北海道会 事務局 前田 稔）



市川善明会員



久保雄平氏

(2) 決算書の信頼性確保に向けたTKCシステムの活用

(3) 日本政策金融公庫の取組み・支援策

5. 主な内容

田中裕之会長よりモニタリング情報サービスの採用について感謝を述べるとともに、TKC全国会の活動と書面添付をはじめとした決算書の信頼性確保に向けた取り組みについて説明いただきました。また日本政策金融公庫札幌支店の井上健国民生活事業統轄より、モニタリング情報サービスの利用が全国的に拡大していること、公庫内で高く評価されていることをお話いただきました。



井上建国民生活事業統轄

TKC北海道会の情報提供では、小中昌幸会員より、TKC会員事務所の標準業務として月次巡回監査、自計化、継



小中昌幸会員

続MASそして書面添付の内容を説明し、小平康夫会員よりこれらを電子データとしてタイムリーに提供するサービスとしてのモニタリング情報サービスをご説明いただきました。



小平康夫会員



佐藤直樹札幌支店上席課長代理

日本政策金融公庫からの情報提供では、札幌支店上席課長代理の佐藤直樹氏より、公庫が行う中小企業の事業承継支援や税理士事務所と連携した融資事例を紹介いただきました。

（北海道会 事務局 前田 稔）



新事業承継税制に関する研修会

11月29日（木）京王プラザホテル札幌において森富幸会員（札幌東支部）を講師に「新事業承継税制について」研修会が開催されました。



森富幸会員

森会員には7月5日（木）にも同様のテーマで講師を務めていただき、今回はその第2弾として行われました。

今回の研修では新事業承継税制の税に関する部分だけでなく、経営承継円滑化法についても触れていただき、実際の手続き部分につい

ても詳細に解説をしていただきました。

森会員の研修会は、いつも話の内容だけでなく、その資料の素晴らしさにも感動しますが、今回もいつもと同じ感動を覚えました。特に今回の研修資料は、新事業承継税制に実務家として取り組んでいく際の必携書ともいえるものでした。レジュメには根拠条文が記載されていますので、条文をすぐに確認することができます。書庫にしまい込んでしまうことなく、いつでもすぐ手に取れるところに置いておきたい資料と感じ、実際に私は、その様に活用しています。

平成30年度税制改正で創設された特例事業

TKC北海道会と日本政策金融公庫との交流会

1. 日 時 平成30年12月3日（月）
16:30～17:55 研修会
18:00～19:30 懇親会
2. 会 場 ホテルモントレーエデルhof札幌
3. 参加者 TKC札幌東支部、西支部、小樽支部 計36名
日本政策金融公庫札幌支店、札幌北支店、小樽支店 計20名
4. 研修会のテーマ
(1) TKCモニタリング情報サービスの活用

承継税制は、われわれの業界に限らず企業経営者においても非常に注目されています。そのため多くの書籍が出版され、また多くの研修会が開催されています。今回、実務家である森会員には実務家目線でレジュメを作成し解説をしていただきましたので、非常に高い満足を得られた研

修会でした。
森会員は、本当に多くに時間を割いて今回の研修の準備をしていただいたことと思います。心より感謝申し上げます。
(研修所長 菅野 浩)

前衆議院議員高木宏壽先生との懇談会

11月20日(火)札幌グランドホテルにて、前衆議院議員の高木宏壽先生を囲み、TKC北海道政経研究会主催の懇談会が2年ぶりに開催されました。懇談会に先立ち、高木先生との名刺交換が行われ、和やかに会は始まりました。

最初に藤田時人政経研究会会長より、「2018TKC全国会のすべて」のパンフレットに従って、全国会組織の概要および現状のTKC全国会会員として社会からの期待に応えるための「4つの専門家」についての説明がありました。

次いで、高木先生からの活動報告では、まず、前回の衆議院選挙での総括とその折での選挙応援に関する謝辞が述べられました。現在は来るべき国政復帰のために、多くの会合に参加され、市民の声を聞く毎日を送られているそうです。まさしく今は自由民主党札幌市支部連合会会長として、来年の統一地方選挙、参議院選挙

の調整役としてお忙しくされている、そんなお話もされていました。

続いて、中川信喜政経研究会幹事長よりTKCからのご提言として、2019年度「税制改正等要望書」重点事項についての説明がありました。その中でも特に消費税関係について、成31年10月までにインボイス方式ではなく、引き続き帳簿方式とする改正および単一税率についての改正を行うように強く要望しました。

その後、写真撮影、会食が行われ、その中高木先生はいろいろな仕事を経験された見識深い側面から、札幌の都市計画に対する熱いビジョンが語られたり、会員からは複数税率に係る多くの弊害についてなどを訴える場面などあり、双方にとって非常に有意義な会になったと思います。

(札幌東支部 坂本 文彦)



リスク3委員会からの提案です！

[共済制度等推進委員会]

TPS2000の小規模企業共済加入提案書をぜひご活用ください。

いよいよ確定申告の時期が目前に迫ってまいりました。ぜひこの時期に、小規模企業共済の新規ご加入、または、既加入の場合は月額掛金増額のご提案をいただければと思います。小規模企業共済は、ご存知のことと思われますが、会社役員や個人事業主等の節税が可能であるとともに、退職金のご用意、そのほか、掛金額に応じた借入ができるなど、さまざまなメリットのある制度でございます。また、お客様とのコミュニケーションを図るためにも、とても良い制度でございます。そこで、ぜひ一度、TPS2000で作成できる「小規模企業共済加入提案書」をご活用いただければと思います。

こちらは業務プロセスの「5 所得税申告書の作成・納税予定額の試算」→「D 納税予定額の試算表の作成」→「544 小規模企業共済加入提案書の作成」の順に進んでいただければ作成することが可能です。この「544」をクリックいただくと、小規模企業共済をかけていただいた場合の節税額を簡単に計算してくれます。月額掛金は、1,000円から70,000円となっております。この範囲内で試算することができますが、参考として、最大の70,000円が設定されており、比較もできるようになっております。また、印刷をかけていただきますと、下記のような小規模企業共済加入提案書が出来上がり、そのままお客様へご提供いただくことが可能です。しかし、注意点がございます。それは、ご提案書の中に、参考として表示されている最大の70,000円は提案書へ記載されておられません。ご自身で設定された月額掛金でのご提供となりますので、ご留意いただければと思います。この小規模企業共済加入提案書とともに小規模企業共済のパンフレットと申込書の一式をお持ちいただき、お客様の節税、退職金の積立に、ぜひお役立ていただければと思います。

最後に、システムの都合上、29年分のTPS2000をもとに資料を作成させていただいております。30年分のTPS2000にて、変更がありましても、「小規模企業共済加入提案書の作成」は変わらないものと思われます。ご了承いただければ幸いです。よろしく願いいたします。

The screenshot shows the TPS2000 software interface for creating a '544 Small Business Mutual Fund Addition Proposal Form'. The interface is in Japanese and includes various input fields and buttons. Key elements include:

- 544 小規模企業共済加入提案書の作成**: The main title of the form.
- 1. 試算の基礎となる掛金の額**: A section for calculating the basis for the contribution amount, including fields for '月額掛金' (Monthly Contribution) and '年間掛金総額' (Annual Total Contribution).
- 2. 節税シミュレーション**: A table showing the tax savings simulation. It includes columns for '課税所得金額' (Taxable Income), '課税率' (Tax Rate), and '節税額' (Tax Savings).
- 3. (ご参考) 納税額と共済金額の早見表**: A table showing the early view of the tax amount and mutual fund amount. It includes columns for '月額掛金' (Monthly Contribution), '課税所得金額' (Taxable Income), and '納税額' (Tax Amount).
- 4. 受取金額 (掛金70,000円・一時払の場合の税引率の早見表)**: A table showing the early view of the withdrawal amount (70,000 yen contribution, one-time payment case) and the tax rate.

The screenshot shows the TPS2000 software interface for creating a '544 Small Business Mutual Fund Addition Proposal Form'. The interface is in Japanese and includes various input fields and buttons. Key elements include:

- 544 小規模企業共済加入提案書の作成**: The main title of the form.
- 1. 試算の基礎となる掛金の額**: A section for calculating the basis for the contribution amount, including fields for '月額掛金' (Monthly Contribution) and '年間掛金総額' (Annual Total Contribution).
- 2. 節税シミュレーション**: A table showing the tax savings simulation. It includes columns for '課税所得金額' (Taxable Income), '課税率' (Tax Rate), and '節税額' (Tax Savings).
- 3. (ご参考) 納税額と共済金額の早見表**: A table showing the early view of the tax amount and mutual fund amount. It includes columns for '月額掛金' (Monthly Contribution), '課税所得金額' (Taxable Income), and '納税額' (Tax Amount).
- 4. 受取金額 (掛金70,000円・一時払の場合の税引率の早見表)**: A table showing the early view of the withdrawal amount (70,000 yen contribution, one-time payment case) and the tax rate.

1.TKCモニタリング情報サービス採用金融機関

■北海道内金融機関■

1	北海道銀行
2	北洋銀行
3	道南うみ街信用金庫
4	北海道信用金庫
5	苫小牧信用金庫
6	旭川信用金庫
7	北空知信用金庫
8	空知信用金庫
9	北門信用金庫
10	稚内信用金庫
11	帯広信用金庫
12	北見信用金庫
13	渡島信用金庫
14	網走信用金庫
15	北星信用金庫
16	空知商工信用組合
17	釧路信用金庫



■都市銀行等■

1	三菱 UFJ 銀行
2	りそな銀行
3	三井住友銀行
4	楽天銀行
5	商工組合中央金庫
6	日本政策金融公庫

■道内に支店がある他県の金融機関■

1	北陸銀行
2	みちのく銀行
3	秋田銀行
4	第四銀行
5	スルガ銀行

2.TKCモニタリング情報サービス実践事務所

No	支部	所在地	事務所名	会員名
1	札幌東	札幌市東区	あらい税理士事務所	荒井 利幸
2	札幌東	札幌市東区	税理士法人五十嵐会計事務所	五十嵐勝義
3	札幌東	札幌市東区	市川会計事務所	市川 善明
4	札幌東	札幌市中央区	税理士岩崎公治事務所	岩崎 公治
5	札幌東	札幌市豊平区	岩田税理士・社労士事務所	岩田 圭史
6	札幌東	札幌市東区	岩本敏美税理士事務所	岩本 敏美
7	札幌東	札幌市東区	宇野恵理税理士事務所	宇野 恵理
8	札幌東	札幌市北区	税理士法人札幌北会計事務所	梶原 宏
9	札幌東	札幌市中央区	税理士法人加藤会計事務所	加藤恵一郎
10	札幌東	札幌市豊平区	税理士法人金坂会計事務所	金坂 和正
11	札幌東	札幌市厚別区	あすか税理士法人	川股 修二
12	札幌東	札幌市北区	公認会計士小島史資事務所	小島 史資
13	札幌東	札幌市白石区	小平康夫税理士事務所	小平 康夫
14	札幌東	札幌市東区	小林崇税理士事務所	小林 崇
15	札幌東	札幌市白石区	斎藤雅昭税理士事務所	斎藤 雅昭
16	札幌東	札幌市豊平区	坂本文彦税理士事務所	坂本 文彦
17	札幌東	札幌市北区	税理士法人日本アシスト会計	佐々木忠則
18	札幌東	札幌市中央区	佐藤敏明税理士事務所	佐藤 敏明
19	札幌東	札幌市中央区	札幌あおい税理士法人	佐藤 伸泰
20	札幌東	札幌市東区	清宮純税理士事務所	清宮 純
21	札幌東	札幌市豊平区	税理士法人アグス平岸事務所	千葉 寛樹
22	札幌東	札幌市中央区	税理士法人アグス大通事務所	塚田 修治
23	札幌東	札幌市東区	寺田勉税理士事務所	寺田 勉
24	札幌東	札幌市豊平区	戸井敏夫税理士事務所	戸井 敏夫
25	札幌東	石狩郡当別町	富山昇公認会計士事務所	富山 昇
26	札幌東	札幌市北区	税理士法人NS会計中川・佐々木事務所	中川 一俊
27	札幌東	札幌市白石区	中川信喜税理士事務所	中川 信喜
28	札幌東	札幌市厚別区	税理士法人エンカレッジ中田事務所	中田 浩貴
29	札幌東	札幌市東区	FUJITA 税理士法人	藤田 時人
30	札幌東	札幌市北区	藤本康男税理士事務所	藤本 康男
31	札幌東	札幌市豊平区	藤谷満雄税理士事務所	藤谷 満雄
32	札幌東	札幌市東区	税理士法人本間会計事務所	本間 貴久
33	札幌東	札幌市中央区	丸山昭一税理士事務所	丸山 昭一
34	札幌東	札幌市豊平区	南昇税理士事務所	南 昇
35	札幌東	札幌市北区	宮下直樹税理士事務所	宮下 直樹
36	札幌東	札幌市東区	税理士法人空の色	山口和佳子
37	札幌東	札幌市中央区	山美幹生税理士事務所	山美 幹生
38	札幌東	札幌市清田区	横山知明税理士事務所	横山 知明
39	札幌東	札幌市中央区	李香純税理士事務所	李 香純
40	札幌西	札幌市中央区	税理士法人池脇会計事務所	池脇 昭二
41	札幌西	札幌市中央区	税理士法人エンカレッジ	遠藤 成紀
42	札幌西	札幌市中央区	税理士法人あかり会計 中央事務所	大塚 克幸
43	札幌西	札幌市中央区	朝日税理士法人	小川 裕也
44	札幌西	札幌市中央区	税理士法人川井会計	川井 一男
45	札幌西	札幌市中央区	税理士法人小中会計	小中 昌幸
46	札幌西	札幌市中央区	近藤税務会計事務所	近藤 勝美
47	札幌西	札幌市手稲区	佐藤寿志税理士事務所	佐藤 寿志
48	札幌西	札幌市中央区	杉村弘幸税理士事務所	杉村 弘幸
49	札幌西	札幌市中央区	鈴江誠税理士事務所	鈴江 誠
50	札幌西	札幌市中央区	砂野隆英税理士事務所	砂野 隆英
51	札幌西	札幌市中央区	税理士法人田中会計事務所	田中 裕之
52	札幌西	札幌市中央区	税理士法人ベンチャーパートナーズ総合会計事務所	谷水 千晶
53	札幌西	札幌市中央区	西野尾嘉祐税理士事務所	西野尾 嘉祐
54	札幌西	札幌市中央区	はちもり会計事務所	八森 恵一
55	札幌西	札幌市中央区	税理士法人あかり会計	堀内鶴次郎

No	支部	所在地	事務所名	会員名
56	札幌西	札幌市中央区	三上税務会計事務所	三上 香織
57	札幌西	札幌市西区	村岡学税理士事務所	村岡 学
58	札幌西	札幌市中央区	森下税務会計事務所	森下 敏美
59	札幌西	札幌市中央区	八島依子税理士事務所	八島 依子
60	札幌西	札幌市西区	山田めぐみ税理士事務所	山田めぐみ
61	札幌西	札幌市中央区	税理士法人すずらん総合マネジメント	山谷 謙太
62	小樽	小樽市	澤田宏忠税理士事務所	澤田 宏忠
63	小樽	小樽市	税理士法人中央会計事務所	杉下 清次
64	小樽	小樽市	西正則税理士事務所	西 正則
65	函館	函館市	奥山昌弘税理士事務所	奥山 昌弘
66	函館	函館市	北川勝弘税理士事務所	北川 勝弘
67	函館	二海郡八雲町	千田浩文税理士事務所	千田 浩文
68	函館	函館市	長田栄吾税理士事務所	長田 栄吾
69	函館	函館市	中村博信税理士事務所	中村 博信
70	函館	函館市	税理士法人西谷会計事務所	西谷 裕幸
71	函館	函館市	野呂豊税理士事務所	野呂 豊
72	函館	函館市	税理士法人アグス函館事務所	蛭子井真市
73	函館	北斗市	細川拡厚税理士事務所	細川 拡厚
74	函館	茅部郡森町	松山高治税理士事務所	松山 高治
75	苫小牧	苫小牧市	猪股冬樹税理士事務所	猪股 冬樹
76	苫小牧	室蘭市	駒井桂同税理士事務所	駒井 桂同
77	苫小牧	苫小牧市	湯谷和彦税理士事務所	湯谷 和彦
78	帯広	帯広市	税理士法人あおぞら会計事務所	河合 敏
79	帯広	帯広市	来海会計事務所	来海 有起
80	帯広	帯広市	佐藤信祐税理士事務所	佐藤 信祐
81	帯広	中川郡本別町	砂原会計事務所	砂原 政広
82	帯広	帯広市	税理士法人竹川会計事務所	竹川 博之
83	帯広	帯広市	谷本倍規税理士事務所	谷本 倍規
84	帯広	河東郡音更町	てるい会計事務所	照井 直樹
85	帯広	帯広市	中井会計事務所	中井 宏
86	帯広	帯広市	干場慎也税理士事務所	干場 慎也
87	釧路	釧路市	甲賀伸彦税理士事務所	甲賀 伸彦
88	釧路	釧路市	税理士法人タックス総合経営研究所	近藤 康範
89	釧路	釧路市	鈴木圭介税理士事務所	鈴木 圭介
90	旭川	旭川市	税理士法人薄井会計	薄井タカ子
91	旭川	名寄市	朝日税理士法人名寄事務所	加藤 一博
92	旭川	旭川市	金谷博光税理士事務所	金谷 博光
93	旭川	深川市	税理士法人小島会計	小島 拓也
94	旭川	旭川市	朝日税理士法人旭川事務所	實吉 孝範
95	旭川	旭川市	税理士法人カムイ会計	高橋 慎吾
96	旭川	旭川市	多田陽平税理士事務所	多田 陽平
97	旭川	旭川市	税理士法人北都会計	渡辺 祐吉
98	北見	北見市	中島茂幸税理士事務所	中島 茂幸
99	北見	網走市	税理士法人オホツクネクスト経営会計	南都 正弘
100	北見	網走市	税理士法人北翔会計	藤原 誉康
101	空知	岩見沢市	亀山泰幸税理士事務所	亀山 泰幸
102	空知	岩見沢市	税理士法人TACS	木村 聡
103	空知	滝川市	斎藤恵美子税理士事務所	斎藤恵美子
104	空知	滝川市	税理士法人エルムパートナーズ	坂本 和繁
105	空知	岩見沢市	東海林直彰税理士事務所	東海林 直彰
106	空知	岩見沢市	税理士法人ひまわり	谷 勲
107	空知	岩見沢市	鳴海敏郎税理士事務所	鳴海 敏郎
108	空知	滝川市	八幡税理士事務所	八幡 吉宣
109	稚内	稚内市	蝦名朗太税理士事務所	蝦名 朗太
110	稚内	稚内市	田村栄章税理士事務所	田村 栄章

以上110事務所

早期経営改善計画策定支援NEWS

平成30年10月26日版

TKC北海道会 会員各位

平成29年5月29日より早期経営改善計画策定支援が開始されました。当事業は、中小企業や小規模企業が、認定支援機関の支援を受けて、経営改善計画を策定し、金融機関に提出することで自己の経営の見直しと早期の経営改善を促すものです。認定支援機関の使命として、当事業を積極的に実践することで、関与先の業績管理体制を整えていきましょう。

TKC北海道会では、全認定支援機関登録事務所が、当事業を実践することを目指して活動します。その一環として、早期経営改善計画策定支援実践事務所一覧を定期的に会員事務所に発信いたします。是非、取組みを開始しましょう！
TKC北海道会 会長 田中 裕之

現在、北海道内の申請実績496件に対し446件を
TKC会員事務所が実践されています。

早期経営改善計画策定支援実績事務所一覧

【平成30年11月30日現在・順不同・敬称略】

No	支部	事務所所在地	事務所名	会員名
1	札幌東	札幌市東区	市川会計事務所	市川 善明
2	札幌東	札幌市中央区	税理士岩崎公治事務所	岩崎 公治
3	札幌東	札幌市豊平区	岩田税理士・社労士事務所	岩田 圭史
4	札幌東	札幌市東区	岩本敏美税理士事務所	岩本 敏美
5	札幌東	札幌市中央区	税理士法人加藤会計事務所	加藤 恵一郎
6	札幌東	札幌市厚別区	あすか税理士法人	川股 修二
7	札幌東	札幌市白石区	小平康夫税理士事務所	小平 康夫
8	札幌東	札幌市中央区	札幌あおい税理士法人	佐藤 伸泰
9	札幌東	札幌市東区	寺田勉税理士事務所	寺田 勉
10	札幌東	札幌市白石区	中川信喜税理士事務所	中川 信喜
11	札幌東	札幌市厚別区	税理士法人エンカレッジ中田事務所	中田 浩貴
12	札幌東	札幌市東区	FUJITA 税理士法人	藤田 時人
13	札幌東	札幌市北区	藤本康男税理士事務所	藤本 康男
14	札幌東	札幌市東区	税理士法人本間会計事務所	本間 貴久
15	札幌東	札幌市厚別区	税理士法人アンビジャス・パートナーズ	森下 浩
16	札幌東	札幌市中央区	山美幹生税理士事務所	山美 幹生
17	札幌西	札幌市中央区	税理士法人池脇会計事務所	池脇 昭二
18	札幌西	札幌市西区	税理士・社会保険労務士・行政書士姓名事務所	蛭名 和広
19	札幌西	札幌市中央区	税理士法人エンカレッジ	遠藤 成紀
20	札幌西	札幌市中央区	朝日税理士法人	小川 裕也
21	札幌西	札幌市中央区	税理士法人小中会計	小中 昌幸
22	札幌西	札幌市中央区	鈴木康弘税理士事務所	鈴木 康弘
23	札幌西	札幌市中央区	税理士法人高橋会計事務所	高橋 徳友
24	札幌西	札幌市中央区	税理士法人田中会計事務所	田中 裕之
25	札幌西	札幌市中央区	戸井正人税理士事務所	戸井 正人
26	札幌西	札幌市中央区	税理士法人常見会計	中村 新太郎

No	支部	事務所所在地	事務所名	会員名
27	札幌西	札幌市西区	山田めぐみ税理士事務所	山田 めぐみ
28	札幌西	札幌市中央区	税理士法人すずらん会計事務所	山谷 謙太
29	函館	函館市	北川勝弘税理士事務所	北川 勝弘
30	函館	函館市	長田栄吾税理士事務所	長田 栄吾
31	函館	函館市	野呂豊税理士事務所	野呂 豊
32	函館	北斗市	細川拡厚税理士事務所	細川 拡厚
33	函館	茅部郡森町	松山高治税理士事務所	松山 高治
34	苫小牧	苫小牧市	湯谷和彦税理士事務所	湯谷 和彦
35	旭川	深川市	税理士法人小島会計	小島 拓也
36	旭川	旭川市	税理士法人カムイ会計	高橋 慎吾
37	旭川	旭川市	ふたば税理士法人	西 康子
38	旭川	旭川市	税理士法人たいせつ	渡辺 亨
39	旭川	旭川市	税理士法人北都会計	渡辺 祐吉
40	稚内	稚内市	田村栄章税理士事務所	田村 栄章
41	北見	網走市	税理士法人オホツクネクスト経営会計	南都 正弘
42	空知	滝川市	大林強税理士事務所	大林 強
43	空知	滝川市	斎藤恵美子税理士事務所	斎藤 恵美子
44	空知	滝川市	税理士法人エルムパートナーズ	坂本 和繁
45	帯広	帯広市	税理士法人あおぞら会計事務所	河合 敏
46	帯広	帯広市	来海会計事務所	来海 有起
47	帯広	中川郡本別町	砂原会計事務所	砂原 政広
48	帯広	帯広市	税理士法人竹川会計事務所	竹川 博之
49	帯広	帯広市	中井会計事務所	中井 宏
50	釧路	釧路市	甲賀伸彦税理士事務所	甲賀 伸彦
51	釧路	釧路市	税理士法人タックス総合経営研究所	近藤 康範
52	釧路	釧路市	鈴木圭介税理士事務所	鈴木 圭介

1. 事務所名掲載の条件

(1) ProFITの「利用申請受理通知」の報告を実施していること。

(2)「利用申請受理通知」の報告にて「TKC会報の実践事務所一覧への掲載」及び「TKC全国会 HPの実践事務所一覧への事務所名掲載」を承諾していること。

※事務所名掲載を希望されない場合は、ProFITにて承諾にチェックを入れないようにしてください。

2. 当資料は、前週の金曜日に集計し毎週月曜日に発信させていただきます。

平成30年 書面添付実践件数(平成30年11月末日現在)

列	支部名	会員氏名 【敬称略】	平成 30 年実績		
			1~10月	11月	合計
1	札幌東支部	五十嵐 勝 義	102	10	112
2		市 川 善 明	35	1	36
3		井 上 晋 一	0	0	0
4		岩 田 圭 史	6	0	6
5		岩 本 敏 美	18	2	20
6		大 林 慎 一	5	1	6
7		小田川 繁	10	2	12
8		梶 原 宏	6	1	7
9		加 藤 恵一郎	204	15	219
10		金 子 雅 行	9	0	9
11		金 坂 和 正	12	1	13
12		川 股 修 二	145	16	161
13		小 平 康 夫	38	4	42
14		斎 藤 雅 昭	10	1	11
15		坂 本 文 彦	7	0	7
16		佐々木 忠 則	171	14	185
17		佐々木 俊 幸	7	0	7
18		佐々木 幸 徳	54	3	57
19		佐 藤 俊 一	11	2	13
20		佐 藤 伸 泰	66	4	70
21		下 坂 登	6	0	6
22		清 宮 純	77	11	88
23		高 野 真 人	7	1	8
24		田 中 慎 也	6	1	7
25		千 葉 寛 樹	81	6	87
26		塚 田 修 治	67	7	74
27		出 口 秀 樹	51	7	58
28		寺 田 勉	74	8	82
29		中 川 一 俊	50	5	55
30		中 川 信 喜	53	3	56
31		中 田 浩 貴	10	2	12
32		名 越 隆 雄	3	1	4
33		原 幸四郎	59	0	59
34		藤 崎 登喜雄	0	0	0
35		藤 田 時 人	72	3	75
36		藤 本 康 男	9	0	9
37		本 間 貴 久	115	14	129
38		本 間 崇	3	0	3
39		丸 山 昭 一	24	4	28
40		南 昇	19	1	20

列	支部名	会員氏名 【敬称略】	平成 30 年実績		
			1~10月	11月	合計
41	札幌東支部	宮 下 直 樹	57	10	67
42		森 下 浩	22	3	25
43		山 美 幹 生	37	0	37
44		横 山 知 明	0	0	0
45		吉 川 直 宏	5	0	5
46		米 澤 篤 志	12	1	13
47	札幌西支部	阿 部 真 澄	50	9	59
48		池 脇 昭 二	96	8	104
49		石 川 透	0	0	0
50		國 分 敬 祐	3	1	4
51		伊 東 幹 世	0	0	0
52		上 原 貢	13	1	14
53		遠 藤 成 紀	155	12	167
54		大 沼 宏	6	0	6
55		岡 崎 克 明	0	0	0
56		岡 崎 正 毅	10	1	11
57		岡 村 圭 介	0	0	0
58		小 川 裕 也	13	1	14
59		川 端 忠 範	12	2	14
60		桑 畑 典 義	12	0	12
61		小 中 昌 幸	40	7	47
62		近 藤 勝 美	2	0	2
63		杉 村 弘 幸	11	2	13
64		鈴 江 誠	29	0	29
65		砂 野 隆 英	12	2	14
66		高 野 一 夫	0	0	0
67		竹 中 正 美	41	2	43
68		田 中 裕 之	112	5	117
69		藤 堂 愛 子	6	1	7
70		西野尾 嘉 拓	0	0	0
71		八 森 恵 一	2	0	2
72		平 田 清 悦	31	2	33
73		堀 内 鶴次郎	27	3	30
74		三 上 香 織	0	0	0
75		宮 崎 知 行	16	2	18
76		村 西 逸 郎	1	0	1
77		茂 木 賢 治	0	0	0
78		森 下 敏 美	12	1	13
79		八 島 依 子	10	2	12
80		山 崎 瑞 枝	1	0	1

平成30年 書面添付実践件数(平成30年11月末日現在)

列	支部名	会員氏名 【敬称略】	平成 30 年実績		
			1~10月	11月	合計
81	札幌西支部	山 田 めぐみ	6	1	7
82		山 谷 謙 太	145	11	156
83	小樽支部	足 立 竹 秀	10	1	11
84		澤 田 忠 宏	44	1	45
85	函館支部	西 正 則	7	0	7
86		奥 山 昌 弘	19	4	23
87		鎌 田 直 善	38	0	38
88		北 川 勝 弘	26	1	27
89		後 閑 慶 子	7	0	7
90		千 田 浩 文	7	0	7
91		西 谷 裕 幸	4	3	7
92		蛭子井 眞 市	37	2	39
93		細 川 拡 厚	28	2	30
94		松 山 高 治	20	1	21
95	空知支部	大 林 強	2	0	2
96		木 村 聡	57	6	63
97		斎 藤 恵美子	41	2	43
98		坂 本 和 繁	104	9	113
99		谷 勲	45	2	47
100		鳴 海 敏 郎	1	0	1
101	旭川支部	八 幡 吉 宣	23	1	24
102		山 田 和 訓	1	0	1
103		青 柳 順 也	4	0	4
104		薄 井 博	16	2	18
105		尾 田 利 雄	60	3	63
106		加 藤 一 博	0	0	0
107	稚内支部	金 谷 博 光	87	11	98
108		熊 谷 益 夫	1	0	1
109		小 島 拓 也	4	3	7
110		坂 本 英 志	0	0	0
111		佐 藤 弘 道	1	0	1
112		高 橋 慎 吾	61	3	64
113	北見支部	舟 橋 馨	4	0	4
114		渡 辺 祐 吉	54	5	59
115	稚内支部	蝦 名 朗 太	3	1	4
116		田 村 栄 章	22	2	24
117	北見支部	松 井 静 夫	14	0	14
118		伊 東 隆 志	2	0	2
119		井 山 等	13	2	15
120		菅 原 雅 之	3	0	3

列	支部名	会員氏名 【敬称略】	平成 30 年実績		
			1~10月	11月	合計
121	北見支部	中 島 茂 幸	2	0	2
122		南 都 正 弘	1	0	1
123		渡 邊 直 喜	1	0	1
124	帯広支部	井 上 理	13	1	14
125		河 合 敏	127	11	138
126		梅 田 勇	100	3	103
127		白 岩 征 之	99	10	109
128		砂 原 政 広	58	3	61
129		谷 本 倍 規	110	11	121
130		竹 川 博 之	43	1	44
131		東 城 敬 貴	35	4	39
132		中 井 宏	88	11	99
133		干 場 慎 也	7	0	7
134	釧路支部	松 田 孝 志	6	2	8
135		甲 賀 伸 彦	125	12	137
136		高 津 直 人	0	0	0
137		近 藤 康 範	31	2	33
138	苫小牧支部	鈴 木 圭 介	43	4	47
139		猪 股 冬 樹	15	2	17
140		駒 井 桂 伺	37	4	41
141		佐 藤 俊 生	17	1	18
142		柴 山 徳 雄	11	3	14
143		鈴 木 啓 一	1	2	3
144		加 藤 知 子	20	0	20
145		湯 谷 和 彦	70	7	77
146		小 林 史 郎	0	0	0

※公表に同意をいただいた会員のみ掲載しています。
※掲載は、随時TKC北海道会事務局にて受け付けています。
※書面添付実践件数は、TKC全国会の選考基準に基づいた件数です。
※実績は法人・個人合算しています。



書面添付推進委員会からのお知らせ

2018年TKC北海道会「よしやるぞ!」大作戦を展開中です。

「輝く税理士になるために」6つの重点運動に取り組みましょう!

1.「翌月巡回監査率」の向上

2.TKC方式による「書面添付」の実践割合10%超

3.「TKCモニタリング情報サービス」の実践

4.「早期経営改善計画策定支援」の実践

5.「FXシリーズ」による自計化推進

6.「FX4クラウド」による自計化推進



支部例会・研修会だより

FROM SAPPORO HIGASHI, ASAHIKAWA, SAPPORO NISHI, SORACHI



コーチング研修

10月17日（水）、TKC札幌東支部主催で、「行きたくなる巡回監査♡」のためのコーチング応用編「恐怖のクレーム対応」について、研修が開催されました。



他支部の会員も含め会員・職員・協賛企業の方々約60名のご参加があり、講師は第一弾と同じく一般社団法人ビームスプリングの小川聖子先生にご指導いただき、前回好評だったワークを交えての楽しい時間となりました。

しかし、私は前回も参加しているのですが、あの時習った「人の話を聞く力」は半年の間にどこへ行ったやら…。でも席がお隣になった、運命のペアとの色々なワークを通して、普段のコミュニケーションについてまた見直すチャンスを得ることができました。

今回、私のペアは南優香会員。おおっ、なかなか鋭い！そう来たか～という♡を射抜くコメントの数々。そして全く話を聞かない姿勢の女王様（もちろん演技）もなんだか素敵に見える。私ってDM?!

なんて冗談はさておき、今、貴方は大切な人の話をちゃんと聞いていますか？

自分の態度で相手の気持ちも変わる、相手の態度次第で自分の気持ちも楽になったりする…それを意識してもっとコミュニケーション能力を磨き、相手の価値観や何を求めているのかを知るようにすれば、クレームも起きにくくなり、周りとの関係も円滑になる—ということは分かったのですが、言うは易く行うは難し!?

「おかあさん、この話するの3回目だけど!」などの家庭内クレーム対応に追われる今日この頃です。

（札幌東支部 小山 僚子）



例会開催

10月26日（金）、四季の料理・郷土料理「たま川」（メイン料理がふぐ）において、会員18名提携企業4名の出席により支部例会を開催しました。

今回の支部例会は、かねてより支部長が支部の目標として掲げておりました支部例会の出席率の向上を目指し、例年実施していました支部レクと例会を同日に行うことで出席率の向上を期待していましたが、かなわず出席率は41%に留まりました。



当日の13時から、支部レクの麻雀大会を会員8名で3回戦で競い、見事に藤井雄一郎会員が優勝しました。2位は鈴木富士夫会員、3位は渡辺祐吉会員という結果になりました。



支部レク終了後は、会場を移して例会が開催されました。例会では島田康弘支部長から、今

回の支部例会の取り組みについての説明と秋季大学の報告等のあいさつから始まりました。委員会報告では、企業防衛制度推進委員会から下期保険指導強化期間の取り組みと研修会の案内、システム委員会からスマート業績確認・FX農業会計・サイバーセキュリティ・システムまいサポート等の説明、リスマネ委員会からリスマネキャンペーン等の説明、書面添付推進委員会から10月15日（月）に行われた書面添付フォーラムの報告等がありました。

提携企業からの報告では、特に大同生命から、「企業防衛制度特別研修会」が4月12日（金）に行われることが報告されました。

支部例会終了後は、会場の「たま川」での懇親会となり、ふぐ料理に舌鼓を打ちました。懇親会では、島田支部長が考案したゲームで楽しみました。月末近いお忙しい中、出席会員の皆さまは大いに楽しんでいただいたようでした。

次回の支部例会は、2月1日（金）に行う予定です。次回こそは、出席率が向上するのを願うばかりです。

（旭川支部 舟橋 馨）





支所例会・研修会だより

FROM SAPPORO HIGASHI, ASAHIKAWA, SAPPORO NISHI, SORACHI, TOMAKOMAI



合同忘年会

11月30日(金)、毎年恒例のTKC札幌東・西支部合同忘年会在、札幌駅前のセンチュリーロイヤルホテルで開催されました。

昨年から開催された、支部・提携協定企業対抗の趣向を凝らしたかくし芸大会(?)を楽しみに多くの会員が参加されました。

司会は札幌西支部鈴木隆司会員。普段は飄々(ひょうひょう)とした感じの方ですが、メリハリのある進行がお上手でした。

各社とも忙しい業務のあいまを縫って練習されていたようで、昨年より格段に芸のクオリティが上がっていました。トップバッターは株式会社TKCのかぶりものでのウルトラソウル。(以下、開催後に原稿を依頼され、記憶の限り書き起こしているの、順番が前後していたり、芸の趣旨やディテールが違っていただご了承ください)



・東京海上日動：ごつさが本家顔負けの大坂なおみ



・積水ハウス：キレッキレのダンスパフォーマンス



・あいおいニッセイ同和損保：3名の体を張ったクラッカーの芸(※子供はマネをしないように)



・損保ジャパン：一発芸



・ダイワハウス：吉幾三の『俺ら東京さ行ぐだ』の演奏



・大同生命：小川真史課長のノリつつこみ独演会



・三菱UFJ銀行：西村崇浩室長代理の独演、ヒロシ自虐



そしてわれらが札幌東支部は、平成最後の忘年会にふさわしく?なつかしの昭和の名物番組『ザ・ベストテン』を舞台上で表現して、司会も出演者も完全コピー!

3位がアリス(藤本康男支部長、佐々木雅敏副支部長)、2位がピンクレディー(小山僚子会員&南優香会員)と本物さながらに端折ることなく進行していきます。そして、1位が西城秀樹の「YMCA」(市川善明会員)。結局持ち時間を大幅にオーバーする(26分)反則技で盛り上げました。



大トリは今回主催の札幌西支部のチャゲ&飛鳥(石川透会員&三上香織会員)。最後には山谷謙太支部長の呼びかけに札幌西支部の会員全員(おなじみサイババこと田中裕之会長も)が呼応して舞台にあがり、YAH!YAH!YAH!の大熱唱で幕を閉じました。

MVPは札幌東支部のピンクレディーのお二人が“順当に”受賞し楽しい宴が終了しました。今年も全体的に活気のある素晴らしい忘年会でした。

(札幌東支部 中田 浩貴)



支部例会・研修会だより

FROM SAPPORO HIGASHI, ASAHIKAWA, SAPPORO NISHI, SORACHI



支部例会

11月30日（金）アスティ45の会議室にて、札幌西支部の例会が行われました。毎回出席率に頭を抱える札幌西支部ですが、年の瀬と月末が重なったスケジュール、それでも10人強の方が出席しました。山谷謙太支部長から、今年の運営についてのお礼と、その夜に控える忘年会で催される余興への参加のお願いで会はスタートしました。

今年、西支部の例会は、事務的な報告だけでなく、「近況報告とお悩み相談」というスタンスで行ってきました。今回も、文字に残せる話、残せない話、いろいろな話題が出ました。

12月という季節柄、年末調整についての話では、新しい「配偶者控除等申告書」の記載方法の問い合わせへの対応が大変ということ、そもそも、年末調整の時点で所得は確定できず、微妙な金額の方についての配偶者控除等は会社としてどう対応するのがベターで安全なのだろうという議論にもなりました。最終的には確定申告で

なおすことになるので、年末調整では配偶者控除等の対象にしないという意見が多かったですね。

また毎回のことですが、税務調査についても様々な情報交換が行われました。若い調査官でまだまだな方もいれば、きちんとした方が来ることもあり、きちんと対応することが大事という意見に皆うなずきました。この他にも、高級車や船舶の購入についての対応、書籍の中がくり抜かれて現金が隠されていた話、奥さまと久しぶりにカラオケに行ったなど、様々な話で会は盛り上がりしました。

足が遠のいている会員でも、例会の参加をお待ちしています。気軽な気持ちで参加していただければ、有意義なコミュニケーションの時間になるかと思います。なお、私は夜の忘年会で頭が一杯で、当日の写真撮りそこねてしまいました…すみません。

（札幌西支部 前嶋 章宏）



巡回監査支援システム 合同研修会

11月30日（金）アスティ45で札幌西支部の例会に続いて、札幌東・西支部合同での研修会が行われました。今回は、東北会宮城支部の内出琢也会員に、「巡回監査支援システムの完全活用」と会計事務所の業務品質向上について講演いただきました。

内出会員が代表社員を務める「税理士法人青木&パートナーズ」は創業41年、スタッフ総勢21名の事務所です。記帳代行を行わず、巡回監査でお客様への価値を生み出しています。その内容は、芸術作品から受ける印象、事務所の雰囲気づくり、固定しない座席等の思想的なことから、実際の事務所の様々な具体的な数字も挙げて説明いただきました。

そして、巡回監査支援システムは、初期指導が業務を起動にさせるための大事なポイントとのこと。そのためになにが必要で、どうやって行うかということも具体的に説明いただきました。また、より具体的には仕訳辞書や取引先別元帳管

理の使い方も説明いただきました。

「巡回監査システムは巡回監査を標準化し、パソコンにより効率的に行い、書面添付の実践をすすめます」「書面作成の手間や時間が減ることはもちろん、ミスを減らし、事務所内の情報共有にも役に立ちます」「そこで作成した書類が、お客様への成果物になります」

これら内出会員に用意いただいた研修の内容は、当日の時間の都合により全部の説明はできませんでしたが、頂いたレジュメの内容からも、TKC会計事務所としての理想的な事務所運営が行われていることと、行うためのノウハウがたくさん解かる研修でした。改めて、内出会員にお礼を申し上げます。

また、巡回監査システムを活用することで、TKC会計事務所の理想は実現できるものであり、実現すべきものだということを強く感じました。

（札幌西支部 前嶋 章宏）





支部例会・研修会だより

FROM SAPPORO HIGASHI, ASAHIKAWA, SAPPORO NISHI, SORACHI



第1回例会、金融機関との情報交換会・懇親会を開催

支部例会

TKC全国会の基本理念、北海道会の方針、
目標に則り、全会員が連携し
諸施策を計画・実行しよう！
会員事務所の業務品質の向上と経営基盤の強化を目指そう！

～第1回例会、活動方針等を確認～

第1回支部例会は、11月5日（月）滝川市・ホテルスエヒロにおいて開催しました。冒頭、山田和訓支部長から、北海道会、秋季大学（7会員、職員9名参加）、支部の活動状況等の報告があり、さらに協議・提案事項の概要等の説明がありました。

また、システム（木村聡委員）、企業防衛（坂本和繁委員）、リスマネ・広報（谷勲委員）、巡回監査（八幡吉宣委員）、書面添付（中浦孝一委員）、ニューメンバー（原健之委員）、共済（大林強委員）の各委員会報告もありました。

議事では、上記報告等を踏まえ活発な意見交換が行われ、①当面の活動計画、②第2回支部例会・忘年会の開催等について確認・協議しました。（出席会員11名）

◎第2回支部例会・忘年会は、12月6日（木）、



支部例会風景



山田支部長あいさつ

岩見沢市で開催します。

金融機関との情報交換会

◎提携地域金融機関と情報交換会を開催
（経営革新等支援機関情報交換会）

支部例会に引き続き、地域金融機関との協議会を開催しました。

最初に、山田支部長から、TKC全国会・北海道会・支部について説明の後、①新事業承継税制についての説明（坂本会員担当）、②「いま」を未来へとつなぐ事業承継（DVD）の視聴を行いました。

次いで、各金融機関から取組状況について説明がありました。非常に前向きに取り組まれていることの十分に分かるものでありました。

その後は、活発な意見交換、情報提供、質疑



情報交換会風景

を行いました。その後には懇親会も開催しました。

*参加金融機関

空知信用金庫（小川巧審査管理部副部長、
青山審査管理部副部主任）
北門信用金庫（大矢美智幸常務理事営業第
二本部長、松浦聖一本店長）
北空知信用金庫（高橋宏明滝川支店長）
空知商工信組（瀬戸祥博審査管理部長）
（空知支部 谷 勲）



交換会後懇親会風景



12月例会

12月7日（金）苫小牧支部例会が登別市の御やど清水屋にて開催されました。湯谷和彦支部長の開会のあいさつから始まり、秋季大学の決算について報告が行われました。

続いて、森脇一光センター長から、KPIの実践推進の説明がありました。

また、TKCモニタリング情報サービスについては、日本政策金融公庫へも10月からサービスの提供が開始されたことや、一部金融機関については借入利息が通常より優遇制度があることについても案内がありました。さらに、TKCモニタリング情報サービスの普及を推進するため、会員事務所から関与先に対する案内方法について

の詳しい解説がありました。

それを受けて、湯谷支部長から、現存のTKCモニタリング情報サービスの進捗状況と、その推進方法の一例をあげていただき、その後、支部会員同士で、その推進方法について議論しました。

支部例会の後は秋季大学の慰労会が開催され、柴山太一副支部長の司会のもと、湯谷支部長のあいさつの後は、支部会員同士、終始和やかな雰囲気での情報交換がされました。

最後に、森脇センター長より中締めのあいさつがあり、盛会のうちに終了しました。

（苫小牧支部 広報委員会 小林 史郎）



支部例会・研修会だより

FROM SAPPORO HIGASHI, ASAHIKAWA, SAPPORO NISHI, SORACHI



第2回例会と忘年会を開催

会員事務所の業務品質の向上と経営基盤の強化を目指そう！

TKC全国会の基本理念、北海道会の方針、

目標に則り、全会員が連携し

諸施策を計画・実行しよう！

～第2回例会・忘年会、活動方針等を確認～

第2回支部例会は、12月6日（木）岩見沢市・酔月亭において開催しました。

冒頭、山田和訓支部長から、北海道会および支部の活動状況報告（別掲）があり、さらに協議・提案事項の概要等の説明がありました。

また、システム（木村聡委員）、企業防衛（坂本和繁委員）、リスマネ（谷勲委員）、書面添付（中浦孝一委員）の各委員会報告もありました。

議事では、上記報告等を踏まえた意見交換が行われ、①当面の活動計画、②今後の支部例会・研修会の開催等について確認・協議しました。（出席会員8名）



支部例会風景

- ①道会の支部助成金…有効活用する。
- ②支部活動の活発化を図る。
- ③各規程の改訂について、作業中である。
- ④会員増強を促進する。
- ⑤システム関係…消費税改正に対応する。
- ⑥KFS研修…入会5年以上の会員を対象として実施する。（6/17～18）
- ⑦2019秋期大学…釧路、2019.10.3～4（木・金）
- ⑧希望研修の有無
- ⑨他支部訪問の実施

なお、忘年会は割烹「酔月」の流れを継ぐ割烹風料理？を楽しみました。

*第3回支部例会4月滝川市（予定）

第4回支部例会6月岩見沢市（予定）開催
（空知支部 谷 勲）



忘年会風景

スープカレーは本懐、そこに萌えんとは、君



第14回 我が国ではカレーによる王道を行くべき、という事か。

2019年、年が明けましたね。平成から新年号へ、消費税は10%…いや、8%の軽減税率もあり、混乱の年になるかもしれません。混乱を横に、焦らずちょっと落ち着こうと意識するのがいいのかも。

スープカレー、いや、カレーとはなんぞや？これを突き詰めると、スパイスやインド料理、アジア料理に向かうことが多いでしょう。極めるように考えれば考える程、難しくこじらせてしまうこともあります。

時々思います。日本語の「カレー」は日本人の国民食。老若男女がわけへだてなく、ほっこりと食べるものでいいのでは？そんな、ほっこりする味のスープカレーを紹介します。

「サムズカレー」。カレー激戦区の北海道大学周辺で、自分が一番好きなお店です。スープは甘めでルーカレーも想像させるやさしいスープです。スパイスが際立つタイプとは異なります。具材は、特に大きいということもなく、食べやすさと見た目のバランスがとれた絶妙な大きさで、丁寧に調理されていま

す。口に入れると「癒やされる～、ほっこり(*´▽`*)」

店内のBGMは、懐かしいソウル、ジャズ、ロックなど落ち着くものが流れていることが多いです。オルガンの音色が聞こえてきたので尋ねると、手数の少ないプレイヤーが好きで、ジャズオルガニストで一番著名な Jimmy Smith も手数が多すぎること。ここからも味の傾向がうかがえます。

個人的なおすめは、定期的に変わる限定メニュー、季節の野菜を取り入れています。辛さは、辛いのが普通の自分には10番ですが、辛くせずとも十分おいしいと思います。実はスパイスの効いた料理もおいしく、昨年秋のキーマ（限定）はスパイスがガツンとくるマニアをうならせるものでした。

「出来なさすぎるよね、勉強してきたん？」

怒りたい時、怒られた時、ほっこりしに「サムズカレー」はいかがでしょうか？

（札幌西支部 前嶋 章宏）



TERIYAKIチキン&夏野菜カレー
（2016年夏限定メニュー）



秋のキーマ&旬野菜カレー
（2018年秋限定メニュー）



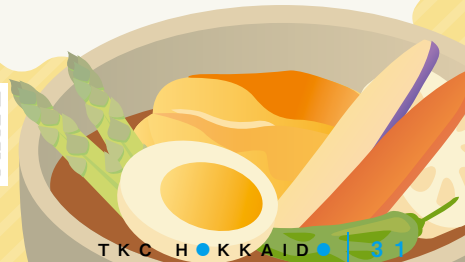
外観

今回のカレー

サムズカレー／北12条

<https://www.facebook.com/samscurry.2014>

<https://tabelog.com/hokkaido/A0101/A010201/1046405/>





坂本 和繁 会員 空知支部

業務品質重視の事務所経営と 顧問先へのより積極的な関与

～さらなる財務会計を重視した全員参加のTKCモデルによる
業務品質向上へ～

再びの会員訪問

坂本和繁会員への私の会員訪問は、実をいうと2度目となります。前は、平成25年11月に新年号の掲載にと、取材させていただきました。私が、61歳で銀行退職して開業した年でもありました。

坂本会員は、事務所の法人化が認められると同時に「税理士法人エルムパートナーズ」を設立。平成26年には、旧事務所から現事務所に新築移転、現在に至っています。

ところで、5年を経過し再度訪問し、取材をさせていただいたのには、次の理由に拠ります。

① 坂本会員は、農業関連団体に勤務後、税理

士事務所勤務を経て、事務所開業以降も豊富な財務知識を駆使し、いくつかの会社の役員として経営に当たってきた。会計でも財務会計を基本とて、TKCの自計化モデルを実践してきている。それは、特に財務会計に基づく、自計化による経営指導を目指していた私にとって、事務所経営への大きな自身の励みとなった。さらなる坂本会員の事務所の発展を間近に取材し、学んでみたい思いに駆られたこと。

② 坂本会員は、「会社経営の経験から経営者が、会計を理解できなければ、真の経営者になれない」とする稲盛和夫氏の経営哲学が大変参考になったと述べている。さらに最も坂本会員が、納得させられたのが、同氏のアメ

ーバ経営である。全社員が軌を一にして全員参加による経営の手法が、事業の大小を問わず、重要な視点だと坂本会員は述べている。それが事務所経営に生かされ、さらに進展している様相をつぶさに拝見させていただきたい、と思ったこと。

③ 当事務所の業績推移は、めざましい。『TKC北海道会「よしやるぞ!」大作戦』の9月現在での速報では、ほとんどの推進項目が上位にランクインしている。この好調な業績を維持する事務所経営方針に、職員の経営参加・待遇面での関わりについても間近に取材したい、と考えたこと。

事務所業績の伸長が、TKC会員全員の目標であることから、この取材には、大きな意味があると考えている。以上が、今回の取材の目的・理由である。

事務所は、税理士2名、職員19名の総勢21名で、巡回監査士も9名を擁している。巡回監査士の増強は、自計化率をアップさせるためにも、当事務所での重要施策の一つでもある。今の事務所の土地は、540坪（前事務所は70坪）、建物は130坪あり、大小会議室等も兼ね備えて、事業所の多くが出店している大きな通りに面した近代的な事務所である。

事務所の経営方針 (実績管理施策を含めて)

基本的には、TKCモデルの実践化がベースだが、その基本施策は従来と大きな変化はない。また、稲盛和夫氏の経営哲学の会計重視の姿勢も従来と同様だが、アメーバ経営での職員全員での積極的な経営参加は前回の取材時より、一層強化されていると思われる。

特に、「継続MASの日」と「書面添付の日」を設定し、その実務知識が不十分な職員に、ベテラン職員が積極指導する方策を採っている。こ

〈税理士法人エルムパートナーズ 経営理念〉

- 一. お客様の繁栄を心から願い期待と信頼に応えよう。
- 一. お客様の立場を理解し心のこもったサービスを提供しよう。
- 一. 地域に愛され地域に貢献する事務所を目指そう。
- 一. 常に研鑽と情報発信を心がけ仕事の価値を高めよう。
- 一. 法令を遵守し仕事に責任を持とう。
- 一. 透明性と自律性があり働くものすべてに生きがいと幸せを提供できる職場を協力してつくろう。

れにより、それら重要項目の事務所目標が達成されていることから、職員全体での経営参加と見ることができる。

また、記帳代行は、当事務所経営の効率改善には寄与しないとの判断から、自計化の重要性を全体会議の都度、ベテランが指導している。こうして自計化率は、年ごとに大幅に改善されている。これも経営方針への全員参加である。

職員全員が日常業務全般を統括する4つのグループに所属するとともに3つのタスクチームいずれかに所属している。このタスクチームは、事務所の重要課題を管理、改善するために設けられており、①業務改善チーム ②企画運営チーム ③システム管理チームの3つからなる。これらのグループ、チームともリーダーを置き、日常的に意見交換、問題点とその改善の方策を協議している。

また、月に1回開催する全体会議では、各グループやタスクチームが中心となり各業績指標の進捗発表や改善協議、意見交換を行い認識の共有を図っている。こうしたクロス面での管理にも積極的である。こうして、職員全員が見事に



経営参加を果たしている。

さて、経営方針の中で、特に業績の芳しくない顧問先への資金管理・資金調達を応援するために、「必要キャッシュフロー」を達成する予算を継続MASで作成、自計システムへの登録を手掛けている。これは、顧問先にしっかりと数字目標を持ってほしいことと、その思考、検証過程に事務所としてより多くかかわりたいの方針からである。

これは、資金繰り管理に寄与するものであり、財務会計を基盤に顧問先を指導することに長けた坂本会員ならではの施策として、顧問先から喜ばれている。

これにより、顧問先の資金繰り管理と顧問先危険リスク管理に、取引金融機関と積極的に協調・情報の交換をしている。そのために、当事務所への金融機関からの信頼性は極めて高い。

従前通り当事務所の経営理念については、毎週月曜日の朝礼時に事務所全員で唱和している（別掲）。

TKCモデルの徹底

坂本会員は、自ら会社経営の経験を事務所経営しながらも実践して来た異色の税理士である。それだけに、経営者に対する財務指導の重要性を力説する。そのためには、TKCモデルでの自計化による財務指導での支援が不可欠であ



り、そのモデルには、経営支援のためのツールが十分に用意されていると述べている。

また坂本会員は、そのモデルを徹底活用し、顧問先への付加価値ある財務指導の支援こそが、これからの税理士事務所が生きる道とも説く。

また、TKCは、組織化と理念が確立された一つの方向性を持つ税理士の基盤確立を目指す団体である。さらにシステムをフォローするSCGがあり、安心してソフトを利用できる。そのため「継続MAS」等の経営支援のためのツールを積極的に活用してほしいと、後進に期待を寄せている。

職員自主性の涵養と士気の活性化

坂本会員の職員の育成には、ことのほか細かい気配りをしており、特に手厚い「資格手当制度」を導入して、士気活性化に向け積極的に支援している。税理士試験はもとより、システム、簿記、巡回監査士、その他国家資格取得者にも手当を規程化している。

また、書面添付で全国1位にランクインしたこともあり、3月期には作成・添付した職員に手当を支給している（多い職員で10万円）。添付する意義の認識と動機付けが、大切と考えている。これにより、添付件数が大幅に増加したと述べている（前述のように、書面添付の所内研修も



盛んである）。

さらに、自計化は効率を重視する事務所の経営方針から、最重要項目であり、それを顧問先に導入した職員にも手当を支給している。

その他、福利厚生面でも、医療保険の保険料補助を規程化している他、親睦を図るレクリエーションも盛んである。

坂本会員は、実績と見識の両方を評価し、これら規程化することにより、職員の積極的な自主性が涵養され、中小企業へ細やかなサービスが提供されることこそが、事務所成長の「鍵」と捉えている。

ところで当事務所は、若い職員が多いこともあるが、ことのほか明るい活気に溢れた事務所だ。それは、5年前に取材した時に、最も感じ入ったことでもあるが、今回の取材でも同様の感がある。

また、坂本会員は、職員がこの事務所に勤務することで、自らが自己発展することをも含めて、満足感を得てくれるとうれしいとも述べている。

趣味・ご家族

坂本会員の趣味は多い。

一部だけを紹介する。まずは、大型のハーレーでのツーリングで、最も好きなコースは、羽幌～稚内間のオロロンラインとのことである。

また、市内の同好者5名でロックバンドを結成して長いが、多忙ながらも演奏活動をして地域に親しまれている。ベースギターを担当し、今年は8月に、札幌芸術の森でライブを行った。

さらに、野球も好きで、朝野球への参加も長

年にわたる。特に例年、ロータリークラブでの甲子園で行われる野球大会では、エースとして出場している。こうしてみると、事務所経営と同様に積極的・活動的である。

さて、ご家族だが、奥様とお子様3人の5人である。奥様は、現在総務を担当されて、お子様の幼少期から事務所経営に携わり、坂本会員とともに事務所の発展に寄与されてきた。ご長男は、当事務所に勤務、ご次男、ご長女は大学在学中で、皆さん自宅を離れ、ようやく子育てが終わりましたと、奥様が言うておられた。奥様の趣味の一つにゴルフがあるが、今年は坂本会員と一緒にラウンドを含めて、40回以上に及んだようである。

最後に、税理士事務所を経営する上での坂本会員の信念を聞かせていただいた。

「事務所経営の理念や、事務所発展のための施策、さらには、職員への待遇を含めて、職員全員参加による積極経営の目的は、事務所の中企業等へのサービスが細やかに提供されることにある。それこそが、事務所が地域社会に認められ、中小企業等の発展に寄与することになる」と述べられた。



取材を終えて

こうして、15時からの取材は、17時半にまで及んだが、終始和やかに、ご夫妻・職員皆様の温かいご配慮により、楽しいひと時を過ごさせていただき、感謝申し上げます。ありがとうございました。

（広報委員 下坂 登）

「2019年」を覗く！

チョット

○おめでとうございます

“陽は沈みまた昇る” 太陽は西に沈み、朝に東から昇るのは自然のことで何の疑問もなく当然のことと思っている。先の北海道大地震の際のブラックアウトで暗闇の体験はあるがこの日も太陽は昇った。地球に住むものにとっては陽が昇ってこなかったことは過去にはなかった。だからと言って将来この状態が永遠に続くとの保障はなく誰にも分らない。

いつものように陽は昇るが、年が変わり元日の太陽を見ると日頃とは違う感慨が湧くのは何故だろうか。太陽は地球が新しい年になった事を知っているのかも。

新年になる日を特別と感じているのは日本人だけではなさそう。TVなどで新年を迎える世界各地の街角の「カウントダウン」などの光景を見ると世界共通の感じでもある。

新しい年の始まりは生活の区切りの一つとして新たな目標や計画そして抱負などを立てて実行しようとするのは自然なのであろう。

○今年は祝日が増える

今年の4月から5月にかけて休日が増え10連休となる。大手旅行業者はこの連休を利用する海外旅行の案内に大忙らしい。それに比べ近隣の温泉地などの観光地はあまり多くの期待はなさそう。全てが賛成だとは言えない。

ところで世界の年間の祝日数はどうなっているのか。2018年の時点であるが、日本は世界一で年間17日、ついで香港が13日、シンガポール10日、アメリカ10日、韓国10日、フランス9日となっている。

全ての人が該当するとは言わないが、日本では祝日とは別に正月休みとか盆休などもあり結構な休日数になる。しかし実際に取っている有給休暇の取得日数を算入すると日本は世界一とは言えず世界で6番目との統計もある。

例え祝日であっても全国民が休んでいる訳では

なく、流通・販売・交通・保安やサービスなど多くの職場で働いている人々がいるし、10連休には全く無縁の人も多数いる。

○われらが業種の10連休は

われらが業種の10連休はどうか。4月から5月に掛けて10連休だと喜んでいるばかりではなさそう。この間は例年超繁忙期で休みが増えても仕事の量が減る訳ではない。ゴールデンウィークはゆっくりとは休めないと思われるが果たしてどうか。現実に関与先の多くは休みに入っていることが多く巡回監査などが押せ押せになる事もある。

10連休について各位の事務所はどう対応するのか聞いた。

ある事務所は「3月決算法人は持っていないから特に関係ない」と言っていたがこれは本当だろうか。「うちは相続専門だから連休は関係ない」「TKCシステムを完全利用しているので普段からノー残業です」「月次決算を徹底して月々処理しており特に決算時に時間を費やすことはない」特異なケースとして「5月の連休をそのまま6月に持ってきている」と。

一般的には「急に決まった訳ではない。カレンダー通だ」が多数だった。

となったが全く参考にはならない。何故なら事務所はそれぞれ独立した企業体で、休む休まないは全く自由であり他人がとやかく言う事ではない。

話は変わるが何時も思うのだが北海道の5月はまだ寒さが残り遠出には不向きな時期である。峠越えには冬タイヤが必要だ。北海道だけでもGWは6月にして欲しいがこれは無理か。

○今年はスポーツの話題が溢れる

今年は「スポーツ」の話題が巷に氾濫しそうだ。スポーツには余り興味が少なく関心もいまいち薄い方だが、今年は何かと興奮させてもらえるだろう。

今年はラグビーのワールドカップが日本各地で開かれる。そして来年は東京五輪・パラリンピックの開催年だ。

先ず感じるのは元日の新聞の朝刊の別刷りのスポーツ特集記事であろうか。近づく五輪への特集記事が満載だ。メダル獲得の可能性がある競技種目・選手などについて報道が加熱しそうだ。TVはスポーツ専門チャンネル化しそうだ。参加者の選考が激しくなるであろう。選手達の今まで努力と練習の結果が出場権者を決めるのだ。誰もが納得できる選考を期待したい。そして獲得できるメダルの数についても話は尽きないだろう。

それに加えて北海道ではプロ野球のファイターズに秋田金足農高出身の吉田輝星投手が加入してのこの話題も尽きないだろう。期待が膨らむことは歓迎だが今年の結果はいかなりましょうか。

この一年間世の中の関心事がスポーツ一辺倒だけになるのが怖い。常に世界は動いていて政治・外交・経済・社会等々は刻々と変化して行くがスポーツの話題の陰になって欲しくない。何が行われているかについても注目したいものだ。

○今年の目標はなし

例年は年の初めに今年はどうしようとか何を実行しようかが目標や計画を立てていたが今年は止める事にした。何故か、過去何年間も年末になりその年を振り返った時、何も成就してないことを知るからだ。その度に自分の意思の弱さや行動力のなさを知ったのだ。何を今更と言われそうだが、無計画にしようと思った時気持ちが幾分「ラク」になり一つの義務がなくなったような感じだった。

初めに「陽はまた昇る」と書いたが、これはヘミングウェイの長編小説の日本語版「日はまた昇る」の題名に掛けている。作品は『来る日来る日が新しい復活の日ではなく、何時もと変わらぬ生活に対する「やるせなさ」』を書いている。約90年前の第一次世界大戦後の作品だ。人々は昇る太陽に何を感じ期待しているのであろうか。

現実には「人」は太陽を見れなくなる時が必ずやってくる。とすると1日1日を大事に過ごしたい。

小中 圭三

今、興味あること

旭川支部

薄井 タカ子
Takako Usui



リレーエッセイを書くことになって、自分が今、興味のあることって何だろうかと考えてみました。

もちろん、一番の興味は日々の仕事です。札幌支店を出して、まだ落ち着かない毎日なので、あまり心の余裕がないところが本音です。しかしながらそんな中、仕事以外で一番興味のあることというところ…「新しい地図」でしょうか。

知らない方のためにご説明しますと「新しい地図」とは、ジャニーズ事務所を辞めた元SMAP3人のマネジメント会社です。「SMAPを連れて出ていけ」と、副社長から言われ、ジャニーズ事務所という同族会社から出された有能な同族外の取締役マネージャー（SMAP育ての親と言われている女性）が作った会社です。

結果、SMAPは解散となり、3人がジャニーズ事務所を辞めました。

その後は、TVには出さないとか曲を使わせないとか、ジャニーズ事務所からの様々な圧力は未だに続いています。そんな中、「新しい地図」は、SNSを始めたり、ネットTVに進出したり、CDではなくレコチョク配信で曲を出したり、パラスポ応援のために出した曲の売り上げを全額寄付したり、企業CMに出たり…本当に様々な手を打って露出の機会を作っています。

有能であるが故に同族会社から追い出された敏腕女性マネージャーが、次にどんな戦略で行くのか…楽しみにしている…それが、現在の私の興味です。

応援しようと思って、ファンクラブに入ったり、お芝居などのチケット購入の抽選に申し込んだりしていますが、多くの人達が同じ気持ちで応援しているようで、なかなか抽選も当たらない状況です。

この後「新しい地図」が一体どうなっていくのか…皆さんもご注目を！

帰ってきた

けんたの業務日誌

支部長編

第10回

札幌西支部 山谷 謙太



1今年もやってきました、札幌東西支部合同忘年会。例年通り前日に余興メンバーが集結し、短時間の打ち合わせのち、当日を迎えることとなりました。

去年は予想を裏切ったので、今年は満を持してわたくしと戸井正人副支部長の漫才。そしてチャゲ&飛鳥は、三上香織会員

と石川透会員が見事演じてくれました。

残念ながら見逃してしまった方のために、動画をユーチューブにUPしておきます。「2018 TKC東西合同忘年会（札幌西支部）」で検索してください。

〈追伸〉写真は、余興を何にするか悩むプロデューサーの山谷。





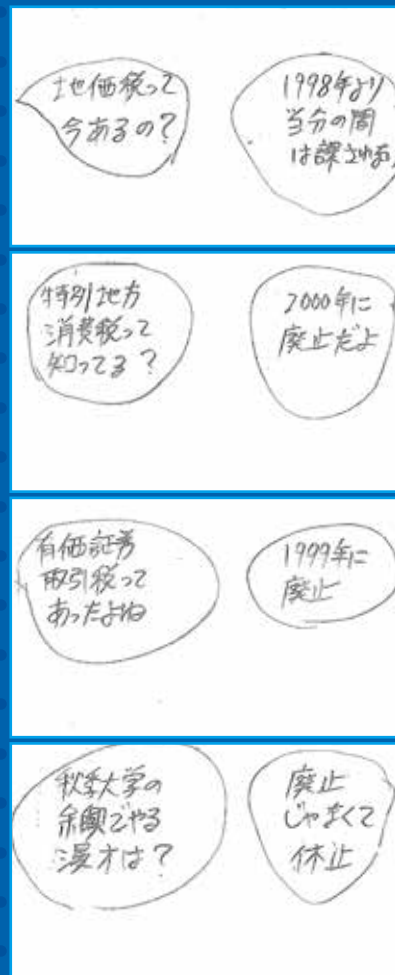
第19回目の今回は、
北海道センターの
金城信吾さんです。



金城 信吾 (きんじょうしんご)

出身	沖縄県那覇市
生年月日	昭和61年11月25日
趣味	映画鑑賞、飲みくらべ、登山。前任地では事務所の職員様とよく登山に行っていました。
好きなスポーツ	登山、ジョギング、スノーボード。BSで放送されるNFL、MLB、テニスの試合を見るのも好きです。
好きな食べ物	お肉が好きです。
会員へのメッセージ	10月付で北海道センターへ赴任しました。前任地は京都、福岡、山陰で西日本中心でしたが、憧れの北海道に赴任する事ができました。北海道の地に1日でも早く慣れ、皆様を支援して参ります。よろしくお願い致します。

停止？廃止？



原作・作画：戸井 正人

★急募 漫画家求む! 広報委員会

—— 取り調べを終えて ——

たまたま私とセンター横の駐車場でバッタリ出会ってしまったばかりに取調室の依頼を受けてしまった金城さん。こころよく引き受けていただいてありがとうございました。見た目も行動も体育会系ということですかね。せっかくの北海道、仕事も趣味も楽しんでほしいですね。

(みやした)

新入会員の紹介

NEW
MEMBER

かな さか はじめ
金坂 肇 (札幌 東)
平成30年8月27日入会
昭和56年10月12日生まれ

事務所住所

札幌市豊平区月寒東1条2丁目10番16号
税理士法人金坂会計事務所

プロフィール

- 出身地／札幌市
- 前職／監査法人(法定監査・不正調査部門)
- 趣味特技／ギター、読書
- 夢・ひとこと／ご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



編集後記 editor's note

あけましておめでとうございます。平成最後のお正月はいかがでしたか。新元号の発表は4月とのこと。ある保険会社が行った新元号に関するアンケートでは1位が平和、2位が和、3位が安久となっており、ベスト10には物騒な世の中に何か、安らぎを求める漢字が含まれているものが多い。その中に異色なものとして「羽生」が9位にランクインしている。女性たちにとっては「羽生」は安らぎか。羽生〇〇年〇月〇日は現実か。読み方が「はにゅう」では平成のHと被るため実現はなさそう。わたしは「栄宝(えいほう)」と予想するが、皆さんはいかに。今年も『TKC北海道かいほう』をよろしくお願いいたします。(広報委員会 副委員長 坂本 文彦)